

## 「再生可能エネ」セミナー

### 18日に日本技術士会中国本部

(公社)日本技術士会中

国本部(近藤英樹本部長)

は11月18日午後1時から、広島市中区加古町の広島市文化交流会館で、非会員も対象としたCPD付与の『地域産学官と技術士との合同セミナー』再生可能エネルギーで活力ある低炭素社会の実現に向けて』を開催する。参加費は無料。

セミナーでは、NPO法人環境エネルギー政策

研究所研究員の古屋将太氏が「未来のエネルギー社会づくりに向けて」をテーマに基調講演する。

また、広島大学大学院工学研究科バイオマスプロセスセンター長教授の松村幸彦氏が「エネルギー資源としてのバイオマス利用への期待と課題」、長州産業(株)産業用太陽光発電・省エネルギー事業統括チーフの木村俊之氏が「太陽光発電の現状と課題」、(株)ユーラスエナジージャパン島根事業所所長の長谷川浩司氏が「風力発電の現状と課題」、イームル工業(株)顧問の沖武宏氏が「小水力発電の現状と課題」、高知県梶原町環境推進課参事の増田尚一氏が「環境モデル都市への取り組み 自然と共生するまちづくり」を演題にそれぞれ事例発表する。

時間は午後1時から5時20分まで。セミナー参加費は無料だが、午後5時半から開催される懇親会には6000円が必要となる。申し込みは14日まで同中国本部事務局(電話082-5111-0305)で受け付けるが、定員(セミナー200人、懇親会90人)になり次第締め切る。